

## シニアネットワーク東北 平成 25 年度活動報告

### 1. 第 5 回定期総会

日時 平成 25 年 6 月 18 日 (火) 15:00~18:00

場所 東北電力ビル 1 階 1BC 会議室

- ・平成 24 年度の活動報告、会計報告が承認され、平成 25 年度活動計画案、収支予算案も原案通り承認された。
- ・土田会員より「国際リニアコライダー (ILC) について勉強会開催」の提案があり、検討することになった。
- ・高橋幹事長より幹事の追加選出について提案があり、阿部壽氏、工藤昭雄氏、多田省一郎氏、前川文章氏の幹事選出が承認された。

記念講演( 第 14 回勉強会参照 )

### 2. 対話活動

#### (1) 東北電力原子力部門新入社員との対話

日時 平成 25 年 5 月 30 日 (木) 10:00~17:00

場所 東北電力本店 1A 会議室

参加者 SNW 東北 : 3 名、SNW 連絡会 : 3 名、新入社員 : 20 名と対話。

基調講演 SNW 東北幹事 元東北電力常務取締役 阿部 壽氏

1990 年に土木学会で発表された研究論文「仙台平野における貞観 11 年三陸津波の痕跡高の推定」についてお話しされた。この話は女川原子力発電所が阿部氏のような先輩たちの関心と努力により、3 年前の大津波にも耐えることが出来たのだということを強く印象づけてくれた。

また、この話に続いて「原子力とともに歩んだ私の技術者人生」と題して氏が会社における仕事にどう取り組んできたかを事例として詳しく語り、新入社員に訴えたい心構えを示した。

#### (2) 長岡技術科学大学 SNW 連絡会と共催 (3 回目)

日時 平成 25 年 6 月 12 日 (水) 13:00~16:10

場所 長岡技術科学大学 総合棟 7 F 階会議室

参加者 長岡技術科学大学 特任講師 大塚雄市、原子力安全系 教授 片岡純一教授、

長岡技術科学大学 大学院 工学研究科 修士課程 1年 23名  
(原子力システム安全工学8名、機械創造工学3名、環境システム工学11名、建設工学専攻1名)  
SNW 東北：2名 SNW 連絡会：6名

基調講演①「原子力発電所の安全確保の考え方」(大野崇氏)

基調講演②「福島第一発電所事故原因と対策の状況」(上田隆氏)

今回の学生とシニアの対話会は、長岡技術科学大学大学院工学研究科の特別講義の一環として実施された。

福島第一原発の事故から約2年が経過し、政府、国会、民間、東京電力他の事故調査報告書等が公表され、事故の経過や対策についての情報が整いつつあり、また、新規規制基準(新安全基準)が施行されようとしているこの時点で、「福島第一原子力発電事故の教訓と対策、及び、新安全基準の考え方」について6テーマに分けて実施した対話は、学生が原子力技術の将来を考えるためにも効果的なものであった。学生は修士課程の1年で原子力システム安全工学専攻が中心だったこともあり、新基準の考え方などかなどかなり専門的な対話であったが、大塚先生の指導のお蔭で学生の積極的な姿勢が目立ち、大変頼もしく感じた。

### (3) 仙台高等専門学校(4回目)

日時 平成25年10月18日(金) 13:15~17:00

場所 仙台高等専門学校名取キャンパス 専攻科棟4F教室他

参加者 仙台高専 吉野教授 専攻科学生:34名、SNW 東北:8名

基調講演1 菊地新喜代表幹事 「地球環境とエネルギー問題」

基調講演2 山田信行副代表幹事 「放射線と放射能」

その後、「はかるくん(CP-100、GM-100)」を使用した計測実習が行われた。

対話

基調講演の後、4グループに分かれて対話を行った。90分間対話を行い、対話の内容について各グループから報告を聞いた。

学生は、きちんとした考えに基づいて熱心に検討し対話を行った。

初めて聞いた話が多かったと思うが、熱心に聴きざつくばらんな意

見を出してもらった。震災後にエネルギーに関していろいろな意見が出ているが、こういう環境の中で今回の対話は有意義なものだったと思われる。

(4) 青森大学 (4回目)

日時 平成 25 年 10 月 30 日 (水) 14:00~17:20  
場所 青森大学 622 教室他  
参加者 学生：ソフトウェア情報学部 1~4 年生 26 名  
教授：ソフトウェア情報学部 矢萩正人教授他  
SNW 東北 6 名

基調講演 1 菊地新喜代表幹事 「地球環境とエネルギー問題」  
基調講演 2 清野 浩幹事 「放射線と放射能について」

SNW 東北の青森大学における対話集会は 4 回目である。  
最初に教室で「地球環境とエネルギー問題」、「放射線と放射能」について、各 30 分の基調講演が行われた。その後、各学生 7~11 名と SNW 東北 2 名との 3 グループに分かれて約 1 時間グループ対話を行った。  
対話の後、再び教室に集まり、各グループ代表者から対話内容の説明があった。各グループ内で話し合った結果の纏めでは、「新エネルギーだけで日本のエネルギーが解決できる状態ではなく、安全を強化した原子力発電所の再稼働も含めてバランスのとれたエネルギー政策であるべき」との結論を発表しており、こちらの言いたいことが伝わったようだ。  
その間、講演、グループ対話についてのアンケートも実施した。最後に、SNW 東北からグループ対話の講評を行い、日程を終了した。

(5) 東北大学工学部 SNW 連絡会との共催 (8 回目)

日時 平成 25 年 12 月 18 日 (水) 13:00~18:00  
場所 東北大学青葉山キャンパス 量子エネルギー工学本館  
参加者 量子エネルギー工学専攻学生 学部 4 年：3 名 修士 1 年：28 名、教官 3 名  
SNW 東北 6 名、 SNW 連絡会 5 名

## 基調講演

講師 松永 一郎氏

演題 「原子力を巡る諸問題と今後の展望」について

講演は3.11東電福島第一原子力発電所事故後の我が国と外国の実態について、原子力技術を学ぶ学生には必須と思われる情報を与えるものであった。また、「原子力の信頼回復とリスクコミュニケーション」について、8月のSNW第14回シンポジウムのポイントを絞って紹介した。

## 対話

基調講演の後、5グループに分かれて約2時間シニアと学生の対話を行った。あらかじめ学生から質問事項が来ており、このため焦点を絞って対話できた。また対話の後、学生一人一人から対話の成果について発表があったが、皆さんとも原発の必要性を認めているものであった。

### (6) 宮城学院女子大学 (4回目)

日時 平成26年1月24日(金) 10:20~12:10

場所 宮城学院女子大学キャンパス

参加者 学生 生活文化学科3年生 19名

教員 林 基哉教授、日下 彩先生

SNW東北 3名

今回は従来の対話形式ではなく、林教授の講義の一コマで行った。従って、グループ分けをした対話ではなく放射線に関する講義と「はかるくんⅡ」を用いたバックグラウンドの測定実習を行った。

講義 清野 浩幹 「放射線と放射能について」

「はかるくん」によるバックグラウンド(大学の構内)の測定

・測定データの検討

### (7) 八戸工業大学 SNW連絡会との共催 (9回目)

日時 平成26年1月29日(月) 10:00~17:30(午前中は学生のみ)

場所 八戸工業大学 メディアセンター

参加者 八戸工大学生 約27名

教官 3名、 SNW東北 5名、 SNW連絡会 5名

基調講演 小川 博巳 SNW 会長代行

演題 「えんぷりと原子力；諸君への期待」

今年で9回目となる今回の企画は八戸工大における4年間に亘る一連の原子力関連カリキュラムの一環として同学3年生を対象とする「原子力体感研修（原子力関連施設の見学など）」の纏めとして実施されたもの。参加学生はこれまでの対話会の経験から、学生とリラックスした対話を持てるように昨年同様事前に学生とシニアが昼食を共にするという学校側の配慮により、八戸名物のせんべい汁を囲んだ昼食会が行われた。これがスムーズな対話を進めるうえで功を奏した。

基調講演では、①福島/女川に何を学ぶか ②日本の電力供給は大丈夫か ③グローバルなエネルギー事情 ④学生諸君への期待という内容で現在の危機的な状況を理解させ、また期待とエールを送るものだった。

基調講演後、5班に分かれて約2時間の対話を行った後、学生はグループ討論の後、各グループ代表による討論総括報告と一人一人の感想表明があった。

(8) 東北学院大学 (6 回目)

日時 平成 26 年 2 月 21 日 (金) 13:00~17:00

場所 東北学院大学工学部 多賀城キャンパス 3号館 2F

参加者 工学部電気工学科 3年生と院生 12名

SNW 東北 8名

基調講演 1 岸 昭正副代表幹事 「エネルギー・環境問題と原子力の役割」

基調講演 2 工藤 昭雄幹事 「放射能と放射線」

基調講演の後、4グループに分かれて約2時間の対話を行った。その結果について各グループの代表からの報告を聞いた。今回は急に学生の就職関係の行事が入ったようで参加者は予定の半数程度になったが、その分少人数なので対話がし易かったため、学生の発言は自然に前年度よりも突っ込んだ内容となった。対話の内容は昨年同様「原子力発電は必要かどうか」と「放射性物質の安全基準はどうなっているか」という点に集中していたが、対話の中ではマスコミの脱原発の風潮に対して原子力発電は必

要であるとの認識を持ってくれたようだ。

### 3. 会員勉強会

総会や拡大幹事会に合わせ、会員を対象に勉強会を2回実施した。

#### (1) 第14回会員勉強会（第5回定期総会での記念講演）

日時 平成25年6月18日（火）16:00～17:20

場所 東北電力本店1階 1BC会議室

参加者 26名

##### 講演①

講師 日本原燃（株）専務取締役 田中治邦 様

演題 「日本六ヶ所原子力燃料サイクル施設の現状と将来見通し」

田中治邦様より「日本原燃の経営概況」「各事業の現状と今後」「使用前検査と竣工の見通し」「六ヶ所再処理工場の安全性」「活断層の評価について」等について貴重なご講演を頂いた。

##### 講演②

講師 東北電力（株）原子力部部長 八重樫武良 様

演題 「IAEAによる女川原子力発電所の地震性能等に関する調査について」

八重樫武良様より「東北地方太平洋沖地震の概要」「IAEA専門家による調査の概要」「IAEA調査報告書の概要」について有意義なご講演を頂いた。

##### 講演③

講師 東北電力（株）原子力部副部長 小保内秋芳 様

演題 「女川・東通原子力発電所の再稼働に向けた取り組みについて」

小保内秋芳様より「安全性向上対策」「新規制基準の概要」「再稼働に向けた取り組み」について詳細なご講演を頂いた。

#### (2) 第15回会員勉強会

日時 平成25年7月29日（月） 16:10～17:15

場所 東北エネルギー懇談会会議室

参加者 講師陣を含め22名

講師 東北経済連合会常務理事 高玉 昌一様

演題 「国際リニアコライダー（ILC）計画について」

先端科学である「リニアコライダー」は大変興味あるものであり、現在「東北」と「九州」で綱引きされていることから活発に質疑が出され、大変有意義な会員勉強会となった。

4. 幹事会・拡大幹事会 原則毎月第4月曜日 (必要に応じて臨時)

- (1) 第41回 平成25年4月22日
- (2) 第42回 平成25年5月27日
- (3) 第43回 平成25年6月24日
- (4) 第44回 平成25年7月29日
- (5) 第45回 平成25年9月24日
- (6) 第46回 平成25年10月28日
- (7) 第47回 平成25年11月25日
- (8) 第48回 平成26年1月27日
- (9) 第49回 平成26年2月24日
- (10) 第50回 平成26年3月24日

5. 「SNW連絡会運営小委員会」および「エネルギー問題に発言する会運営委員会」参加  
原則毎月第3木曜日 (8月は休会)

(場所) 原子力安全推進協会 (JANSI) 会議室

情報収集のため参加し、拡大幹事会で報告、必要に応じて会員にもメール等で紹介した。

6. 平成25年度参加シンポジウム、見学会

(1) 参加シンポジウムなど

・日本原燃 「エネルギー研修会」

主催 日本原燃 青森本部

日時 平成25年4月3日 (水)

場所 青森市

参加者 清野浩幹事、菅原剛彦幹事

・第29回放射線防護研究会

主催 放射線安全フォーラム

日時 平成25年4月18日 (木)

場所 東京大学

参加者 工藤昭雄幹事

- ・東工大シンポジウム  
 主催 東京工業大学  
 日時 平成 25 年 5 月 28 日 (火)  
 場所 東京工業大学  
 参加者 菅原剛彦幹事  
 テーマ 「東日本大震災に耐えた東北電力女川原子力発電所について」  
 「津波の痕跡調査について」
- ・長岡技術科学大学での講演  
 日時 平成 25 年 6 月 4 日 (火)  
 場所 長岡技術科学大学  
 阿部壽幹事が同大学で「津波の痕跡調査について」の講演を行った。  
 阿部氏が 1990 年ごろ実施した貞観津波の痕跡調査に関するもので、一般を含めて 80 名の参加があった。
- ・第 14 回 S N W シンポジウム “原子力は信頼を回復できるか？”  
 日時 平成 25 年 8 月 3 日 (土) 13:00～18:00  
 場所 東京工業大学  
 参加者 約 300 名 S N W 東北からは早坂、工藤、山田、岸が参加  
 J R 東海会長の葛西敬之氏が基調講演を行った後、表題のテーマについて  
 パネルディスカッションがあった。
- ・原子力学会秋の大会  
 日時 平成 25 年 9 月 3 日～5 日  
 場所 八戸工業大学  
 参加者 菊地新喜代表幹事、山田副代表幹事が参加。  
 菊地代表幹事は 9 月 5 日の S N W 企画セッションのパネル討論に  
 参加した。
- ・放射線に関する青森シンポジウム  
 主催 鹿島建設青森支社  
 日時 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 13:30～15:30  
 場所 青森市  
 テーマ 「放射線と放射能」  
 講師 清野浩幹事  
 参加者 山田副代表幹事、菅原幹事、清野幹事、三塚幹事、工藤幹事、  
 鹿島建設関係者約 25 名



・保物セミナー 2013

主催 保物セミナー 2013 実行委員会

日時 平成 25 年 12 月 5 日 (木)

場所 大阪科学技術センター

参加者 山田副代表幹事

福島第一原子力発電所事故から2年半が経過した福島での諸問題について  
「低線量放射線の人体影響」、「福島復興への取り組みと放射線防護上の課題」などの講演会

・日本原燃主催放射線セミナーでの講演

① 12 月 16 日 (月) 弘前市 工藤昭雄幹事

② 12 月 17 日 (火) 八戸市 山田信行副代表幹事

③ 12 月 18 日 (水) 青森市 山田信行副代表幹事

④ 12 月 19 日 (木) 青森市 清野浩幹事、菅原剛彦幹事

(2) 見学会について

なし

7. SNW 東北のホームページ作成

会の運営に当たっては、電子メールによる情報交換をベースとすることで発足したが、これを補完するものとして、また一般の方への情報発信の手段としてホームページを作成して運用している。会員に対しては「会員のページ」も設け、会の活動状況の詳細を把握できるようにしている。内容は必要に応じ随時更新している。

(ホームページ : <http://www.snwtohoku.jp>)

(参考) 平成 25 年度の「学生と対話活動」へのシニア参加者

実施月日	実施大学	学生数	SNW東北とSNW(東京)の参加者	備考
6/12(水)	*長岡技術科学大学	23名	SNW東北2名(馬場、岸) SNW(東京)6名	3回目
10/18(金)	仙台高専	34名	SNW東北8名(菊地、清野、山田、高橋(謙)、高橋(弘)、水原、早坂、涌沢)	4回目

10/31(水)	青森大学	26名	SNW東北6名(菊地、清野、高橋(謙)、岸、工藤、宮本)	4回目
12/18(木)	*東北大学	31名	SNW東北6名(高橋(謙)、岸、工藤、栗野、佐々木、涌沢) SNW(東京)5名	8回目
1/24(金)	宮城学院女子大学	19名	SNW東北3名(菊地、清野、山田)	4回目
1/29(月)	*八戸工業大学	27名	SNW東北5名(菊地、高橋(謙)、岸、工藤、栗野) SNW(東京)6名	9回目
2/21(金)	東北学院大学	12名	SNW東北8名(菊地、高橋(弘)、高橋(謙)、宮本、水原、栗野、岡本、岸、)	6回目

(注) \*印は東京のシニアネットワークと共催

参加学生 172名 SNW東北延べ 38名

なお、日本原子力学会のSNW連絡会による平成25年度の対話活動は、長岡科学技術大、愛知教育大、北九州高専、九州工大、鹿児島大、九州大学、福井工大、福岡教育大、関東、佐賀大、東北大、広島、八戸工大と13回実施されたが、SNW東北としてはこのうち長岡技術科学大、東北大、八戸工大での対話に参加している。

以上